

研修で
学校が
変わる

情報化推進リーダー研修 まとめ

令和3年5月14日（金）

Web会議による遠隔研修（各校）



「1人1台端末を活用した 学びの深化、転換に向けて」

講師 堀田 博史 氏（園田学園女子大学 教授）

【研修のねらい】

■ 児童生徒の情報活用能力育成に向けたカリキュラム・マネジメントや校内研修の進め方について理解し、各校における実践力を高める。

何から始めていいかわからない

情報化推進リーダーに求められる素養は

- (1) コンピュータ操作スキルを含む情報教育に関する豊富な知識
- (2) 授業の質的改善への取り組みを模擬できる授業力
- (3) リーダーの異動に備え、多くの教職員を巻き込める人望と計画力

教員の活用意欲、スキルに課題

1人1台端末の活用イメージがわからない

児童生徒の情報モラルへの不安

明日への想い

受講者の声をお届けします（下/右欄）

中学校区で
情報活用能力レベルが
ある程度揃っていることが大切

中学校区で研修を！

情報教育担当として、他の職員に周知し取り掛かるべきことの見当がついた。まずは中学校区で小学校卒業までに最低身につけさせたいICT活用能力について他校と協議のうえで、早期に手を打っていく必要があることを感じた。

教員の習熟度に差が激しいため校内ミニ研修会の実施を細分化して分けて行うことを実践してみたいと思った。

職員を4つの分類に分けて研修の内容を変えていくという方法は、タブレット研修のみならず、様々な場面で活用できると思った。

クラウドサービスを活用した授業改善についての研修会を開催したい。

朝のタブレットドリルの学習時間にタイピング練習をさせたい。

研修モデルカリキュラム 10のモジュール

- ①推進普及マネジメント
- ②研修計画策定 実施方法
- ③ICT 活用デモ
- ④教育情報化概論（教育の情報化の全体像）
- ⑤教育情報化トレンド（最新動向）
- ⑥先進・優良事例紹介
- ⑦授業 ICT 活用ポイント
- ⑧スキルアップに向けた心構え
- ⑨ICT 活用 授業設計
- ⑩授業設計ワークショップ

（H26文科省「校内研修リーダー養成のための研修手引き」より）

どの年代層をターゲットに
どのモジュールを中心に
研修を組み立てますか？

Google classroomを使った他校の取り組みの具体的な内容をチャットを通して学ばせていただいた。本校でも、連絡の伝達や授業の振り返りなどで活用させていこうと思った。

情報モラルについて、特に健康被害に係る側面を強調して、児童生徒へ指導するとともに保護者への啓発や情報発信を行っていきたい。